

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	不法投棄防止パトロール及び撤去事業	所管	環境クリーン部 廃棄物対策課
			TEL 2998-9146

事業の目的 (何の為に 行うか)	不法投棄多発地域をパトロールし、不法投棄物を撤去することで、地域の環境保全を維持し、不法投棄を未然に防ぐことを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢市内に発生する不法投棄行為及び不法投棄物	対象とした数	1,387	件
		実際に 利用した数	1,387	件

活動の内容	(何を したか)	市民から不法投棄の通報があった場合、委託業者に撤去の指示をし、かつ、委託業者は平日(月曜日から金曜日)の午前8時30分から午後5時まで不法投棄多発地域等のパトロールを実施。パトロール中に不法投棄物を発見した場合は、内容等を記録したうえ、その場で撤去して、クリーンセンターへ搬入。また、不法投棄行為者を発見した場合には、車両ナンバーの情報や行為者の特徴等を収集して所沢警察署へ通報。								
活動実績	項目名	不法投棄物撤去量	51	項目名		単位		項目名		単位
			t							

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	8,100	7,239	11,372	33.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	不法投棄量	パトロール時の撤去量	63	51	123.5
			単位 t	単位 t	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []								
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止								
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了								

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了									
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了								
	予算	現状どおり 増額 減額 終了								

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	050400	TEL	2998-9146
事業コード	不法投棄防止パトロール及び撤去事業					
050418	環境クリーン部 廃棄物対策課					
開始年度		平成 13 年度	—	終了年度	平成 年度	
グループ		管理・指導担当				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル	中柱	4 不法投棄対策の充実	小柱	(1)不法投棄防止体制の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○					

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	不法投棄多発地域をパトロールし、不法投棄物を撤去することで、地域の環境保全を維持し、不法投棄を未然に防ぐことを目的とする。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	所沢市内に発生する不法投棄行為及び不法投棄物			利用数の考え方 所沢市内に発生する不法投棄行為に対する処理件数			
	対象数	単位	平成 18 年度	1,667	件	平成 19 年度	1,387	件
	利用数	単位	平成 18 年度	1,667	件	平成 19 年度	1,387	件
	事業の具体的な内容及び実施方法 市民から不法投棄の通報があった場合、委託業者に撤去の指示をし、かつ、委託業者は平日(月曜日から金曜日)の午前8時30分から午後5時まで不法投棄多発地域等のパトロールを実施。パトロール中に不法投棄物を発見した場合は、内容を記録したうえで、その場で撤去して、クリーンセンターへ搬入。また、不法投棄行為者を発見した場合には、車両ナンバーの情報や行為者の特徴等を収集して所沢警察署へ通報。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
平成19年度中に改善した点 ・少しでも行為者に繋がる手がかりがあれば、警察に通報し、その行為の取締りを依頼した。 ・不法投棄がされやすい箇所について、重点的にパトロールを行うことにより、不法投棄の未然防止に努めた。 ・不法投棄がされた箇所については、地主や管理者に対して柵の設置や不法投棄防止看板の設置を依頼し、再発防止に努めた。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		8,070	8,100	8,080
	決算 (見込み含む)		7,264	7,239	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		0.63 人 5,796	0.44 人 4,133	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		13,060	11,372	
	財源内訳	一般財源	13,060	11,372	8,080
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		38.7	33.5	
	利用数一単位あたり(単位:円)		7,834.4	8,199.3	

⑥指標	項目名	不法投棄物撤去量	計算方法	不法投棄物撤去量	単位	t	H 18	63	H 19	51	H20見込み	51	将来目標
	活動実績												
	成果分析	不法投棄量	パトロール時の撤去量	t	目標値	79	63	51	実績値の拡大を図る1		実績値の縮小を図る2		2
		%	達成率	125.4	123.5								

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	委託業者	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	不法投棄行為は市内中心部では比較的少なく、市境に近い富岡・柳瀬・三ヶ島地区内の雑木林や路上等に全体の7割以上が集中しているため、これらの地域を特に重点的にパトロールを行う必要がある。また年末年始、年度末等に不法投棄が集中するため、特にパトロールを強化していく必要がある。					
	今期目標項目(何を)	不法投棄物	達成年次(どこまで)	昨年度の撤去量以下に減らす	時期(いつまで)	平成20年度末	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
評価理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由	不法投棄の多発地域、時期については特にパトロールを強化していく必要がある。地上波デジタル放送の開始に伴うテレビの買い替え等により、家庭から排出される家電4品目や粗大ごみについて、今後も廃棄物の不適正な処理(不法投棄など)が発生するものと考えられるため、これからも事業を継続していく必要がある。						
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	廃棄物対策課長 高橋 巳喜次				

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了				
	年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	252	323	325
	施策の体系	2-5景観・美観の保全	施策の方向	2-5-2清潔なまちづくりの推進		
		3-2資源循環の促進		3-2-3廃棄物の適正処理		
		3-2資源循環の促進		3-2-5産業廃棄物対策		
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					